



1月給食だより



あけましておめでとうございます 

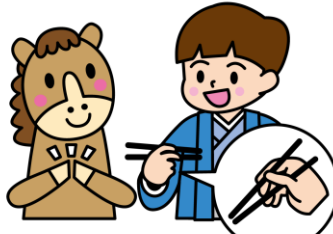
冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。



今年うま年!



うまのように野菜を
たっぷり食べよう!



箸をうまく使いこなして
きれいに食べよう!



よく味わってうま味
を感じよう!

お年玉はもちだった!?



お正月は、普段より日本文化を感じる機会が多かったのではないのでしょうか。

さて、子どもたちにとって、お正月の楽しみといえばお年玉。新年を祝って、大人から子どもへお小遣いを渡す風習です。もともとは、お正月の「歳神様(年神様)」にお供えした「もち」を、歳神様からの贈り物として分け与えたことが始まりとされ、「年玉」とは「歳神様の魂」を意味します。





さい がい じ しょう そな 災害時の『食』を備えましょう

がつ にち
1月17日



もしも災害が起きた時の備えはできていますか。1995
(平成7)年1月17日に、阪神・淡路大震災が発生しました。

寒さ厳しい中、被災した多くの人たちを支えたのは、

ボランティアによって届けられた炊き出しの「おむすび」です。震災発生から5年が過ぎた
2000年、兵庫県が事務局を務める「ごはんを食べよう国民運動推進協議会」は、食料の重要
性や、ボランティアの善意を忘れないために、この日を「おむすびの日」と決めました。

このところ、各地で大きな災害が頻発しています。災害発生直後は支援が届かないという
ことを前提に、一人ひとりが自分の命は自分で守ることを意識し、普段から備えをしっかりと
しておくことが大切です。

さい がい じ しょう そな 災害時の食の備え

★非常食・日常食品・持ち歩き用品の3つを備えておきましょう。水と熱源は必需品です。

そのまま食べられる
ひ じょう しょう じ
非常食



アルファ化米、缶詰、レトルト食品、菓子類など

ローリングストックで備える
にち じょう しょう じ
日常食品



お米、乾麺、乾物、日持ちの野菜・果物、調味料など

がいしゅつ じ
外出時の
もちあそび しょう じ
持ち歩き用品




飲料水、チョコレート・あめなどの菓子

ひとり にち
1人1日3リットル

みず ちょうりょう ふく ひとり
水は調理も含めて1人1日3リットル必要とされています。できれば1週間分備えておく心安心です。




あたた
カセットコンロとボンベがあれば、温かい料理を食べることができます。あらかじめ使い方を確認しておきましょう。



1/24~1/30は
「全国学校給食週間」です

やくわり さいかくにん
と役割を再確認します。



せんそう ちゅうだん がっこうきゅうしょく しょうわ ねん
戦争で中断されていた学校給食は昭和21年
12月24日に再開しました。学校給食週間では、
昔から現在の給食を楽しみながら、給食の意義